

2004年12月期 中間決算説明会

2004. 9.10
株式会社 アサツー ディ・ケイ

**The State of
Japan's
Ad Industry**

2004年 広告市場の推移

	<u>2001</u>	<u>2002</u>	<u>2003</u> (年度)	<u>2004 予測</u> (年度)	
				政府	民間
実質GDP	-1.2%	+1.1%	+3.3%	+3.5%	+3.5%
名目GDP	-2.4%	-0.7%	+0.8%	+1.8%	+1.5%
	(source: 国民経済計算年報)			(source: 平成16年度内閣府試算 04.7.21)	
				(source: 日本経済新聞 04.8.19 / 14機関平均)	
広告市場	60,580	57,032	56,841	58,165億円	
	-0.9%	-5.9%	-0.3%	+2.3%	
				(source: 電通 日本の広告費)	

売上実績(上位8社)

(単位:百万円)

	<u>2004年上期</u>	<u>増減額</u>	<u>前期比</u>
電通	734,125	58,009	108.6%
博報堂	336,377	8,049	102.5%
ADK	185,269	7,890	104.4%
東急エージェンシー	71,404	-11,488	86.1%
大広	71,159	-5,764	92.5%
読売広告社	55,475	-5,951	90.3%
JR東日本企画	44,940	3,301	107.9%
朝日広告社	29,363	-1,094	96.4%
計	1,528,112	52,952	103.6%

(source: 広告経済研究所)

**ADK Parent
Performance
1st Half 2004**

(百万円未満四捨五入)

業種別 売上分析

(単位:百万円)

2004年上期	売上高	構成比	増減	前期比
エネルギー・素材・機械	2,589	1.4%	377	117.0%
食品	18,622	10.1%	-1,348	93.3%
飲料・嗜好品	14,019	7.6%	-3,057	82.1%
薬品・医療用品	7,509	4.1%	298	104.1%
化粧品・トイタリー	15,643	8.4%	-3,746	80.7%
ファッション・アクセサリ	4,416	2.4%	-1,153	79.3%
精密機器・事務用品	4,133	2.2%	72	101.8%
家電・AV機器	4,321	2.3%	-633	87.2%
自動車・関連品	12,512	6.8%	762	106.5%
家庭用品	1,183	0.6%	99	109.1%
趣味・スポーツ用品	7,951	4.3%	-1,593	83.3%
不動産・住宅設備	2,715	1.5%	480	121.5%
出版	1,629	0.9%	-1,043	61.0%
情報・通信	20,714	11.2%	5,240	133.9%
流通・小売業	10,804	5.8%	1,983	122.5%
金融・保険	31,311	16.9%	7,721	132.7%
交通・レジャー	4,877	2.6%	-487	90.9%
外食・各種サービス	4,901	2.6%	454	110.2%
官公庁・団体	3,386	1.8%	237	107.5%
教育・医療サービス・宗教	1,216	0.7%	578	190.6%
案内・その他	10,816	5.8%	2,648	132.4%
計	185,269	100.0%	7,890	104.4%

媒体別 売上分析

(単位:百万円)

	ADK	前期比	上位8社計	前期比
雑誌	10,284	100.0%	79,045	100.9%
新聞	17,722	105.1%	213,130	101.1%
テレビ	92,083	100.1%	682,808	103.1%
タイム	32,488	95.7%	N.A.	N.A.
スポット	50,221	99.0%	N.A.	N.A.
デジタル	1,568	81.6%	N.A.	N.A.
コンテンツ	7,806	146.3%	N.A.	N.A.
ラジオ	1,907	94.7%	27,199	100.4%
SP	33,565	113.5%	525,930	105.9%
制作その他	29,708	111.4%		
計	185,269	104.4%	1,528,112	103.6%

* デジタルはBS、CS、インターネットを含む

P/L

(単位:百万円)

	2003年上期	2004年上期	前期比	予算比
売上高	177,379	185,269	104.4%	102.9%
総利益	18,590	20,665	111.2%	109.9%
総利益率	10.5%	11.2%	+ 0.7%	+ 0.7%
経費	16,051	16,593	103.4%	103.5%
人件費	10,680	11,567	108.3%	108.1%
その他	5,371	5,026	93.6%	94.3%
営業利益	2,539	4,071	160.4%	147.0%
営業外損益	756	918	121.5%	153.1%
経常利益	3,295	4,990	151.4%	148.1%
特別損益	-444	-504	-	-
税引前利益	2,851	4,485	157.3%	141.5%
法人税等	1,601	1,848	115.4%	110.6%
当期純利益	1,250	2,638	211.1%	175.8%
人件費/総利益	57.5%	56.0%		
営業利益/総利益	13.7%	19.7%		

業績伸長要因

- 360度コミュニケーションプログラムの実行
マス媒体以外の売上・総利益増加
 - SP
 - Creative
- 優良コンテンツの海外への展開 遊戯王 in USA
- 協力会社の集中と選別による仕入原価の改善
- 販売費及び管理費の節減努力

売上分析

新規得意先 vs. 既存得意先



外資系得意先 vs. 国内得意先



メディアバイイング vs. メディアバイイング以外



本社 vs. 支社



売上分析 新規得意先 vs. 既存得意先

(単位:百万円)

	売上高	構成比	前期比
新規得意先	4,764	2.6%	41.1%
既存得意先	180,506	97.4%	108.9%
計	185,269	100.0%	104.4%

売上分析 外資系得意先 vs. 国内得意先

(単位:百万円)

	売上高	構成比	前期比
外資系得意先	46,217	24.9%	110.5%
国内得意先	139,052	75.1%	102.6%
計	185,269	100.0%	104.4%

売上分析 メディアバイイング vs. メディアバイイング以外

(単位:百万円)

	売上高	構成比	前期比
メディアバイイング	27,993	15.1%	107.8%
メディアバイイング以外	157,276	84.9%	103.9%
計	185,269	100.0%	104.4%

売上分析 本社 vs. 支社

(単位:百万円)

	売上高	構成比	前期比
本社	156,278	84.4%	105.8%
支社	28,991	15.6%	97.8%
計	185,269	100.0%	104.4%

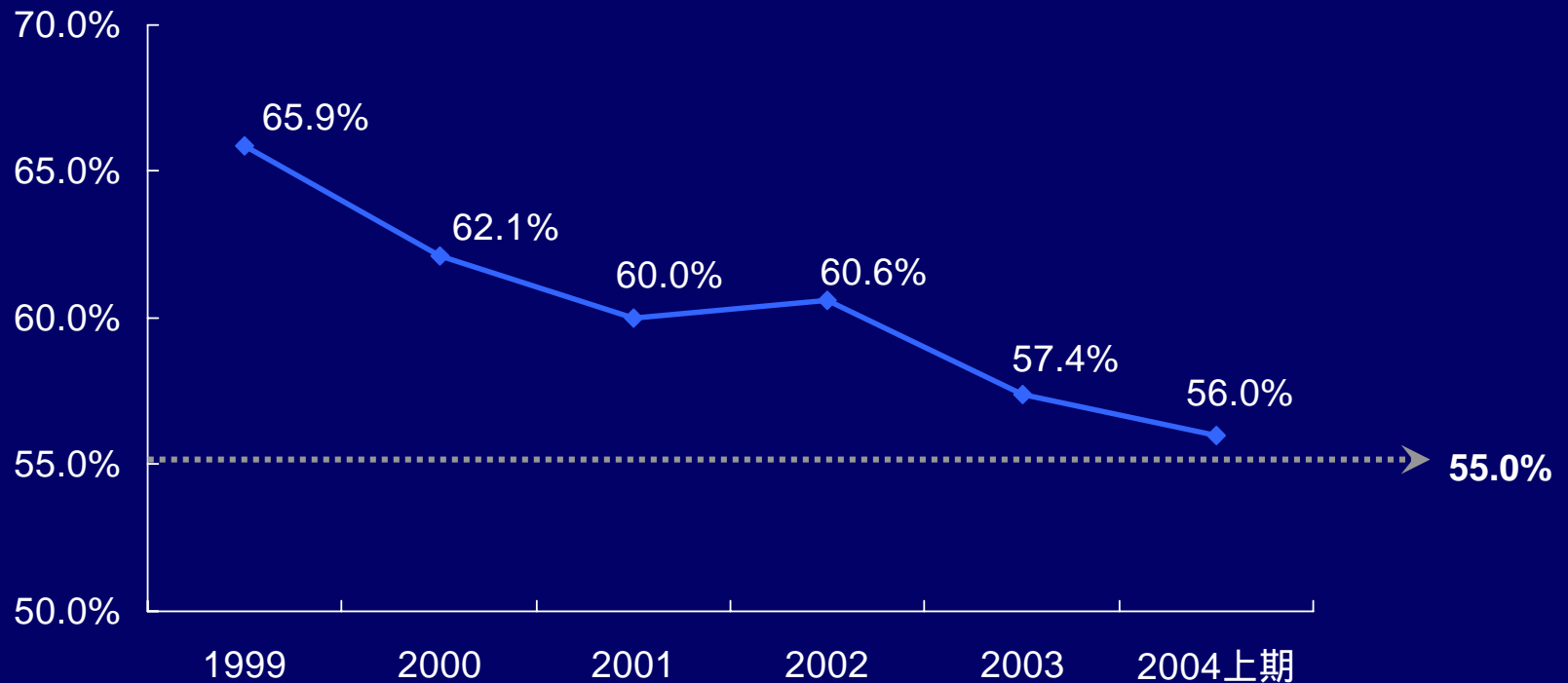
経費分析

(単位:百万円)

	2003上期	2004上期	増減	
人件費	10,680	11,567	887	・ 決算賞与関係の引当金増加
その他	5,371	5,026	-345	・ 貸倒実績率減少による引当金減少 ・ 不要な資料費の節約 ・ オフィスコストの削減
経費計	16,051	16,593	543	

経営指標改善プロセス

	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年上期	中期目標
人件費 / 総利益	65.9%	62.1%	60.0%	60.6%	57.4%	56.0%	55.0%



経営指標改善プロセス

	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年上期	中期目標
営業利益 / 総利益	6.0%	10.0%	11.1%	7.6%	14.3%	19.7%	15.0%



通期 P/L見込

(単位:百万円)

	上期実績	下期見込	下期前期比	上下期比	通期見込	通期前期比
売上高	185,269	187,731	104.2%	49.7 : 50.3	373,000	104.3%
総利益	20,665	19,635	101.6%	51.3 : 48.7	40,300	106.3%
総利益率	11.2%	10.5%			10.8%	
経費	16,593	16,607	101.0%	50.0 : 50.0	33,200	102.2%
人件費	11,567	11,033	99.6%	51.2 : 48.8	22,600	103.9%
その他	5,026	5,574	104.0%	47.4 : 52.6	10,600	98.8%
営業利益	4,071	3,029	104.9%	57.3 : 42.7	7,100	130.8%
営業外損益	918	382	132.7%	70.6 : 29.4	1,300	124.6%
経常利益	4,990	3,410	107.4%	59.4 : 40.6	8,400	129.8%
特別損益	-504	-96	-	84.0 : 16.0	-600	192.1%
税引前利益	4,485	3,315	100.2%	57.5 : 42.5	7,800	126.7%
法人税等	1,848	1,652	95.8%	52.8 : 47.2	3,500	105.2%
当期純利益	2,638	1,662	105.0%	61.3 : 38.7	4,300	151.8%
人件費/総利益	56.0%	56.2%	-	-	56.1%	-1.3pt
営業利益/総利益	19.7%	15.4%	-	-	17.6%	+3.3pt

Conversion Rate: 70.2%

下期売上進捗状況

(単位:百万円)

	7月	8月	9月	7-9月	10-12月	下期見込	前期比
月次売上予算	28,181	21,213	32,370	81,765	105,966	187,731	104.2%
7・8月実績/9月予定	27,822	25,448	33,000	86,270	-	-	-
増減額(対予算)	-359	4,235	630	4,505	-	-	-
増減額(対前期)	2,463	2,078	-575	3,967	-	-	-

- 下期進捗状況: 46.0% (¥86,270MM ÷ ¥187,731MM)

**ADK Group
Performance
1st Half 2004**

(百万円未満四捨五入)

連結対象会社

国内（連結対象会社：9社）

- ・ 協和企画
- ・ ADKインターナショナル
- ・ ADKアーツ
- ・ 三友エージェンシー
- ・ 第一企画コミュニケーションズ
- ・ 第一企画リレーションシップマーケティング

- ・ エイケン

- ・ 日本文芸社
- ・ ネオ書房

国内（持分法適用会社：2社）

- ・ 日本情報産業
- ・ デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム

海外（連結対象会社：10社）

- ・ ADK America
- ・ Asatsu Europe Holding
- ・ Asatsu Europe
- ・ Asatsu (Deutschland)
- ・ Asatsu-DK Hong Kong
- ・ United Asatsu International
- ・ Nexus/Asatsu Advertising
- ・ DK Advertising (HK)
- ・ DIK-Ocean Advertising
- ・ Dai-Ichi Kikaku (Thailand)

海外（持分法適用会社：4社）

- ・ ASDIK
- ・ Guangdong Guangxu Advertising
- ・ Shanghai Asatsu Advertising 等

P/L

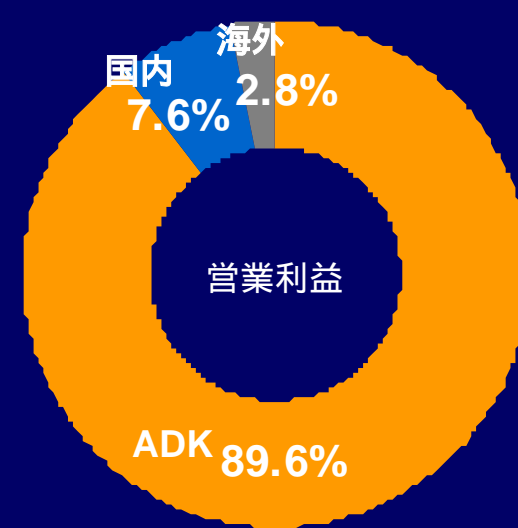
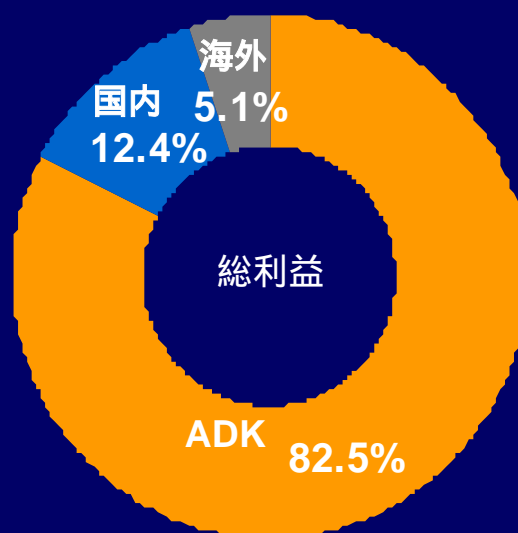
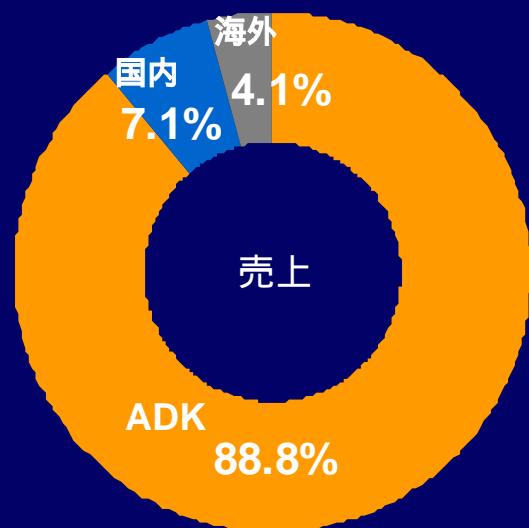
(単位:百万円)

	2003年上期	2004年上期	前期比	予算比	連単倍率
売上高	195,963	203,641	103.9%	103.4%	1.10
総利益	23,099	24,847	107.6%	106.6%	1.20
総利益率	11.8%	12.2%	+0.4%	+0.4%	
経費	20,134	20,427	101.5%	102.1%	1.23
人件費	13,207	13,972	105.8%	105.4%	
その他	6,927	6,455	93.2%	95.8%	
営業利益	2,965	4,419	149.1%	133.9%	1.09
営業外損益	1,089	1,106	101.6%	138.2%	
経常利益	4,054	5,525	136.3%	134.8%	1.11
特別損益	-720	-637	88.5%	130.0%	
税引前利益	3,334	4,888	146.6%	135.4%	1.09
法人税等	1,803	2,019	112.0%	105.7%	
少数株主利益	56	24	43.0%		
当期純利益	1,475	2,845	192.9%	167.3%	1.08
人件費/総利益	57.2%	56.2%			
営業利益/総利益	12.8%	17.8%			

P/L分析

(単位:百万円)

	売上高	前期比	総利益	前期比	営業利益	前期比
ADK	185,269	104.4%	20,665	111.2%	4,071	160.4%
国内9社計	14,834	96.8%	3,116	97.2%	345	101.0%
海外10社計	8,561	92.7%	1,286	95.5%	125	121.3%
連結修正仕訳	-5,023	-	-220	-	-122	-
計	203,641	103.9%	24,847	107.6%	4,419	149.1%



通期 P/L

(単位:百万円)

	上期実績	下期見込	下期前期比	上下期比	通期見込	通期前期比
売上高	203,641	207,359	104.1%	49.5 : 50.5	411,000	104.0%
総利益	24,847	24,353	102.4%	50.5 : 49.5	49,200	104.9%
総利益率	12.2%	11.7%	-	-	12.0%	-
経費	20,427	20,673	101.7%	49.7 : 50.3	41,100	101.6%
人件費	13,972	13,728	100.9%	50.4 : 49.6	27,700	103.4%
その他	6,455	6,945	103.3%	48.2 : 51.8	13,400	98.0%
営業利益	4,419	3,681	106.6%	54.6 : 45.4	8,100	126.2%
営業外損益	1,106	794	146.1%	58.2 : 41.8	1,900	116.4%
経常利益	5,525	4,475	112.0%	55.3 : 44.7	10,000	124.2%
特別損益	-637	-113	-	84.9 : 15.1	-750	124.7%
税引前利益	4,888	4,362	106.0%	52.8 : 47.2	9,250	124.2%
法人税等	2,019	2,181	113.3%	48.1 : 51.9	4,200	112.7%
少数株主利益	24	26	61.4%	48.5 : 51.5	50	50.8%
当期純利益	2,845	2,155	100.4%	56.9 : 43.1	5,000	138.1%
人件費/総利益	56.2%	56.4%	-	-	56.3%	-0.8pt
営業利益/総利益	17.8%	15.1%	-	-	16.5%	+2.8pt

Conversion Rate: 72.7%

**Growth Strategies
& Progress Report**

成長戦略* の進捗状況

* 2003年12月期 決算説明会で発表

1) Quality Up

- ・ 360度コミュニケーション・モデル
- ・ 組織改革
- ・ クリエイティブ力の強化

Progress Report

- ・ SP、クリエイティブ、コンテンツ部門の
売上アップ
- ・ SP、マーケティングのプランニング部門
統合を2005年1月より実施
- ・ 海外NWセンターから中国部門を独立
- ・ 競合プレ勝率アップ
- ・ カンヌ国際広告祭 フィルム部門
日本代表審査員派遣

2) Alliance with JWT & RedCell

- ・ 海外 – 日系クライアント開拓
- ・ 国内 – JWTグローバルクライアント
の共同開拓

Progress Report

- ・ 米国スバル 競合プレゼン参加(10/1)
- ・ ニコン 海外向け広告
- ・ 富士通 海外向け広告
- ・ 現在進行中

3) コンテンツ関連と海外市場

当社買い切りアニメ・キャラクター番組 (10月改編)

・こちら葛飾区亀有公園前派出所	CX系	・Get Ride! アムドライバー	TX系
・ワンピース	CX系	・遊戯王デュエルモンスターズ	TX系
・レジェンズ	CX系	・テニスの王子様	TX系
・ドラえもん	EX系	・ <u>陰陽大戦記</u> 新番組	TX系
・あたしんち	EX系	・トランスフォーマー スーパーリンク	TX系
・クレヨンしんちゃん	EX系	・ケロロ軍曹	TX系
・仮面ライダー	EX系	・ <u>セサミストリート</u> 新番組	TX系
・ふたりはプリキュア	ABC/EX系	・ <u>カッパの飼いかた</u> 新番組	アニマックス/CS

価値あるコンテンツ・プロバイダーへ

権利ビジネスの強化と収益源の重層化

- 海外アニメ市場への拡充 (番組販売、ライセンスなど)
米国・中国への現地法人設置でマーケティング拠点拡充
海外アニメマーケットでブース展開、契約促進 (NATPE, MIPCOM, MIPTV, etc)
- ADKオリジナル キラー アニメの開発及び制作体制拡充
(従来作品) 遊戯王、こちら葛飾区亀有公園前派出所、テニスの王子様
(新規作品) アムドライバー、新セサミストリート、カップの飼い方
- 地上波TV番組からCS有料チャンネル、BB配信、モバイル配信などへの番組供給
一週間に20枠放送 (10月以降、深夜アニメ2本含む)
ドラえもん、クレヨンしんちゃん、あたしんち、ワンピース、仮面ライダー、
ふたりはプリキュア、ケロロ軍曹他

- 旧作キラードアニメの再活性化(知財化) DVD事業、新番組化、エイケン連携
(新TV番組化) 妖怪人間ベム、新番組(エイケン) 新番組化・開発中
(DVD発売事業化) タッチ、六三四の剣、ナースエンジェルリリカ、
姫ちゃんのリボン
- コンテンツ事業の積極化
映画出資(年6~8本)、セサミSSPJ事業の主導、玩具・フィギュア等の開発
- キラーキャラクターのマーチャンダイジング展開
(商品化によるロイヤリティー収入増進)
ADK番組提供クライアントへの積極販売及び新規攻略の武器として
- キャラクターの広告・販促使用の促進(広告関連売上の拡大)
映画タイアップキャンペーンなどで通年展開

広告会社のアニメビジネスの収益構造

メディアコンテンツとして360度多面展開

(コンテンツビジネスとして)

- ・TV番組の番組制作及び番組販売
- ・国内、海外への放送権及びマーチャンライツ販売、管理
- ・コンテンツ事業(映画出資及び制作、DVD発売、他社キャラライツマネジメント)
(プラットフォームビジネス/制作委員会参加)
- ・コンテンツ企画開発(キャラクター開発、玩具・フィギュアなど開発)

(広告ビジネスとして)

- ・キャラクターの広告・販促キャンペーン使用の促進
- ・キャラクター利用の商品マーチャンダイジング(ロイヤリティー収入)
及び商品ブランド扱い(広告)

4) イベント関連

上期実施

< スポーツ/文化イベント >

- ・ 第1回日本大学女子選抜駅伝競走
- ・ 東レパンパシフィックオープンテニス
- ・ 三菱ダイヤモンドカップゴルフトーナメント
- ・ 大相撲中国場所2004
- ・ ロン・ティボー国際音楽コンクール
ガラ・コンサート
- ・ ミュージカル「アニー」
- ・ THE ドラえもん展 全国巡回
- ・ オリンピック関連事業 (次ページ参照)

< プロモーション >

- ・ 鈴鹿8時間耐久レース
仮面ライダーHondaチーム参戦
- ・ バドワイザー六本木ヒルズジャック

4) イベント関連

アテネオリンピック関連ビジネス

- ・ JOCオフィシャルパートナー権販売
- ・ JOC公式イベント事業
 - アテネオリンピック日本代表選手団
結団式、壮行会、解団式プロデュース
- ・ JOCオリンピック・ムーブメント事業
プロデュース
 - オリンピック・デーラン & スノーラン
 - オリンピック・コンサート
- ・ オリンピック関連企画
 - 日本代表選手団公式服装規定企画
 - 応援プロモーション展開のコーディネート
 - 選手肖像使用契約
- ・ 朝日新聞 特集紙面ADK買切広告枠販売

4) イベント関連

下期実施/予定

< スポーツ・文化イベント >

- ・ PMF (パシフィック・ミュージック・フェスティバル) 2004
(7-8月)
- ・ Mt. Fuji ジャズ・フェスティバル(8月)
- ・ ホノルルセンチュリーライド(9月)
- ・ 平尾昌晃チャリティゴルフ(10月)
- ・ 第36回全日本駅伝対校選手権大会(11月)
- ・ JALホノルルマラソン(12月)
- ・ THE ドラえもん展 全国巡回 (来年1月まで)

< プロモーション >

- ・ 遊戯王世界大会 in LA(7月)
- ・ 海外モーターショー出展
 - オートチャイナ(6月)
 - パリ(10月)
 - タイ(12月)

5) インベストメントファンドの活用

Progress Report

- ・ 新規クライアント及び新規ブランド開拓 (金融) 既存クライアントの売上増に貢献
- ・ 成長業種へのアプローチ
 - (自動車) 新規クライアントへの口座開設
 - (流通) 通販クライアントへの売上増に貢献
 - (医療) 新ブランドの獲得

6) 成長分野への投資

- ・ デジタルメディア分野
- ・ ブランドコンサルティング分野

Progress Report

- ・ DACに加え、電通とのデジタル分野におけるJV準備中
- ・ 部門強化

7) 関係会社の統廃合による効率化

Progress Report

- ・ 2003年設立のADKアーツに加え、7月1日トライコミュニケーション設立
 - 三友エージェンシー、
 - DIKコミュニケーションズ、
 - DIKリレーションシップマーケティングを統合

8) ADK's Codeの継続

Corporate Philosophy: 全員経営

Corporate Vision: New Wave Agency

Corporate Spirit: Innovative, Challenging and Unique

Corporate Mission: 360度ベストコミュニケーションサービスの提供

Organization Discipline: 3Fs (Flat, Flexible, Fast)

下期に向けて - 上期課題への対応

営業活動の強化

- 新規クライアントの獲得
- 媒体販売強化

関西支社の強化

第2次中期経営計画策定中

第1次中期経営計画： 効率的経営

(2002-2004年)

	目標値	2004年予想値
Indicators		
人件費/総利益比率	55%	56.1%
営業利益/総利益比率	15%	17.6%

第2次中期経営計画： 継続的・持続的成長

(2005-2007年)

Indicators	EPS伸長率
	- 株主価値増大の視点から 当期利益アップ + 自己株取得

Appendix

B/S (ADK単体) 2004年6月30日現在

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債	
現金及び預金	14,287	支払手形	24,127
受取手形	11,210	買掛金	58,541
売掛金	71,673	その他	6,433
有価証券	17,529	流動負債合計	89,101
制作支出金	6,813	固定負債	
その他	3,138	退職給付引当金	3,151
貸倒引当金	-574	その他	5,667
流動資産合計	124,078	固定負債合計	8,819
固定資産		負債合計	97,920
有形固定資産	3,062		
無形固定資産	2,364	資本の部	
投資その他の資産		資本金	37,581
投資有価証券	71,570	資本剰余金	40,607
その他	10,130	利益剰余金	24,979
貸倒引当金	-1,826	その他有価証券評価差額金	13,220
投資その他の資産合計	79,873	自己株式	-4,930
固定資産合計	85,301	資本合計	111,459
資産合計	209,379	負債及び資本合計	209,379

自己資本比率: 53.2%

B/S (連結) 2004年6月30日現在

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債	
現金及び預金	23,378	支払手形及び買掛金	86,866
受取手形及び売掛金	92,106	短期借入金	579
有価証券	17,804	その他	9,538
たな卸資産	8,330	流動負債合計	96,985
その他	3,375	固定負債	
貸倒引当金	-673	社債及び長期借入金	1,070
流動資産合計	144,321	退職給付引当金	3,963
		その他	5,760
固定資産		固定負債合計	10,795
有形固定資産	5,414	負債合計	107,780
無形固定資産	2,611		
投資その他の資産		少数株主持分	1,217
投資有価証券	71,093		
その他	12,097	資本の部	
貸倒引当金	-1,970	資本金	37,581
投資その他の資産合計	81,220	資本剰余金	40,607
固定資産合計	89,246	利益剰余金	37,444
		その他有価証券評価差額金	13,961
		為替換算調整勘定	-95
		自己株式	-4,930
		資本合計	124,569
資産合計	233,567	負債、少数株主持分及び資本合計	233,567

自己資本比率
53.3%

総資産連単倍率
1.12倍

2004年6月期 連結有価証券情報

(単位:百万円)

流動	マネー・マネージメント・ファンド	2,044	
	フリー・ファイナンシャル・ファンド	15,058	
	割引農林債券	147	額面価額
	債券	351	
	投資信託	204	
	流動合計	17,804	
固定	WPP Group plc.	34,382	31,295,646株(2.64%保有)
	デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム(株)	1,791	持分法
	他、上場株式	20,547	169 銘柄
	計	56,720	
	関連会社株式	4,106	16 銘柄
	子会社株式	684	26 銘柄
	他、非上場株式	1,770	81 銘柄
	計	6,560	
	債券	5,642	25 銘柄
	投資信託	2,171	27 銘柄
	合計	71,093	
	関係会社出資金	130	5 銘柄
	出資金	884	11 銘柄
	固定合計	72,107	

設備投資額 / 減価償却額

設備投資額

(単位:百万円)

科目	単体	連結子会社	連結
建物	19	11	30
構築物	-	-	-
車両	6	3	9
器具備品等	20	25	45
土地	-	-	-
営業権	-	-	-
ソフトウェア	140	18	158
その他	-	0	0
計	185	57	242

減価償却額

(単位:百万円)

科目	単体	連結子会社	連結
建物	62	36	98
構築物	2	0	2
車両	5	5	10
器具備品等	72	39	111
土地	-	-	-
営業権	2	38	40
ソフトウェア	366	6	372
その他	11	28	39
計	520	152	672

2004年6月期 連結キャッシュフロー計算書

	2004年上期	2003年上期	2003年通期
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前中間（当期）純利益	4,888	3,334	7,447
減価償却費	672	684	1,408
売上債権の増減額（-：増加）	9,496	2,860	-3,670
仕入債務の増減額（-：減少）	111	-1,542	3,285
その他	-6,181	-411	3,042
営業活動によるキャッシュ・フロー合計	8,986	4,925	11,513
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	-84	-212	-345
無形固定資産の取得による支出	-158	-422	-657
投資有価証券の取得による支出	-3,367	-1,096	-2,286
投資有価証券の売却による収入	2,290	2,864	4,186
その他	-342	4,102	2,968
投資活動によるキャッシュ・フロー合計	-1,660	5,237	3,867
財務活動によるキャッシュ・フロー			
自己株式の取得	-9	-449	-455
配当金の支払	-444	-446	-891
その他	-30	-284	-620
財務活動によるキャッシュ・フロー合計	-483	-1,181	-1,964
現金及び現金同等物に係る換算差額	-20	258	-28
現金及び現金同等物の増減額（-：減少）	6,821	9,240	13,388
現金及び現金同等物の期首残高	30,125	16,635	16,635
連結子会社と非連結子会社の合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	101	101
現金及び現金同等物の中間期末（期末）残高	36,946	25,977	30,125

(単位:百万円)

なお、本資料で記述されている業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。